

## <経済>

### 依然として生活費が高い国、シンガポール

日本から出張で来られたお客さまと話していると、必ず話題に上るのが「シンガポールの物価の高さ」です。確かに、コンドミニアムの家賃、アルコールや煙草といった嗜好品の価格は、日本のそれらと比べて非常に高くなっています。また、英経済紙であるエコノミストの調査部門が発表した 2017 年度版の世界主要都市生活費ランキングでは、シンガポールが 4 年連続で 1 位となっていることから、シンガポールの物価が高いことが窺えます。

#### 【世界主要都市生活費ランキング】

1 位	シンガポール
2 位	香港
3 位	チューリヒ
4 位	東京
5 位	大阪

※ランキングは世界 133 カ国が対象。

※食品、飲料、衣服、日用品、家賃、交通費、光熱費、学費などを含むモノとサービス 400 種類以上を調査し決定している。

世界が認める生活費の高い国、シンガポール。そんな中、更なる生活費上昇を予感させるニュースが最近話題となりました。

それは「水資源保全税の増税」です。水資源保全税とは聞き慣れない言葉ですが、ここシンガポールでは生活水のほとんどを隣国マレーシアからの輸入に頼っており、水が限られた資源であるため、飲料水に対して水資源保全税という名目で水道料金にも課税されています。

今般、シンガポールでは 2017 年度予算演説が行われましたが、その中で触れられたのがこの水資源保全税の増税です。具体的には以下のような改正案が発表されました。

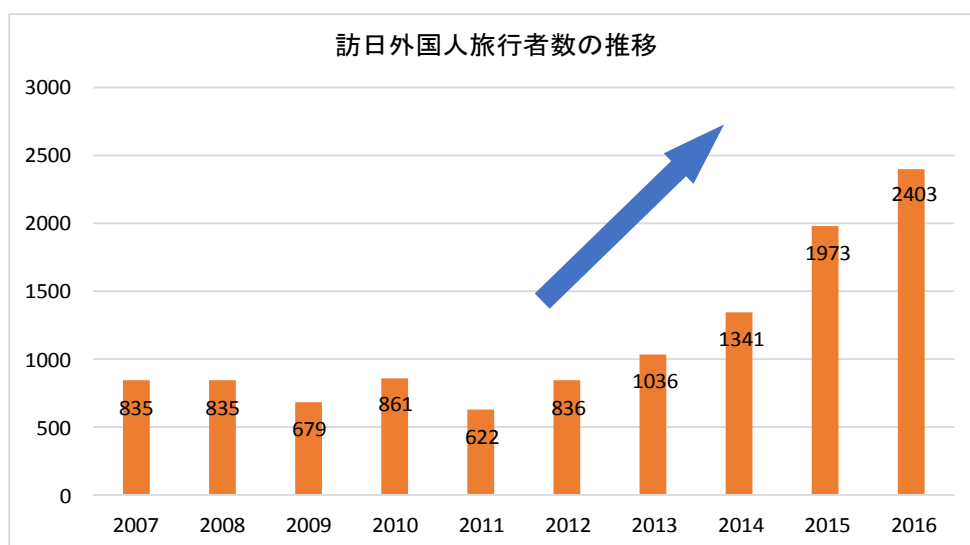
現行	改正案
<p>NEWater (※) に対する水資源保全税はなし。</p> <p>水資源保全税は以下のとおり飲料水に対して課税される。</p> <p>家庭内消費：40 m<sup>3</sup>までは水道料金の 30%、40 m<sup>3</sup>を超える分は 45%。</p> <p>企業内消費：水道料金の 30%</p> <p>船舶業消費：水道料金の 30%</p> <p>(※) NEWater とは、下水の高度再生水を指す。</p>	<p>2017 年 7 月以降、<b>NEWater に対して水道料金の 10%が水資源保全税として課税される。</b></p> <p>飲料水に対する水資源保全税を以下のとおり変更する。</p> <p>&lt;2017 年 7 月以降&gt;</p> <p>家庭内消費：40 m<sup>3</sup>までは水道料金の 30%、40 m<sup>3</sup>を超える分は <b>50%</b></p> <p>企業内消費：水道料金の <b>35%</b></p> <p>船舶業消費：水道料金の <b>35%</b></p> <p>&lt;2018 年 7 月以降&gt;</p> <p>家庭内消費：40 m<sup>3</sup>までは水道料金の <b>50%</b>、40 m<sup>3</sup>を超える分は <b>65%</b></p> <p>企業内消費：水道料金の <b>50%</b></p> <p>船舶業消費：水道料金の <b>50%</b></p>

今回の予算演説では、シンガポール経済が成熟し大きな転換期を迎えているとの考えから、「革新による経済成長」、「生活環境の質向上」、「思いやりのある共生社会の創造」の3つをキーワードとして、水資源保全税の増税以外にも様々な予算案が発表されています。

ただ、今以上の生活費上昇が懸念されるこの改正案には、当店の現地スタッフはもちろん、多くのシンガポール国民が受け入れがたい様子であるため、今後の動向に注目が集まっています。

## 訪日外国人旅行者数が過去最高

日本政府観光局（JNTO）の発表によると、2016年の訪日外国人旅行者数は、前年比21.8%増の約2,400万人で、JNTOが統計を取り始めた1964年以降、最多となりました。



JNTOが考える主な増加要因として、クルーズ船寄港数の増加や航空路線の拡充、これまでの継続的な訪日旅行プロモーションに加え、ビザの緩和、消費税免税制度の拡充等が挙げられています。私はシンガポール、タイ、インドネシアのトラベルフェアに参加しましたが、それぞれで日本に対する興味を強く感じました。

シンガポールでは、年間約36万人が日本を訪れますが、そのうち3割が日本に5回以上訪れるヘビーリピーターと言われています。シンガポールのトラベルフェアに参加すると、北海道や東京、京都といったメインスポットは既に訪問しているため、新しい目的地を探している方が多く、四国・愛媛を紹介すると真剣に話を聞いてくれ、多くの質問を受けます。

また、訪日旅行者が昨年から30%も増加しているインドネシアでは、シンガポールと比べてリピーターは少ない印象ですが、トラベルフェアでは、老若男女問わず、熱心に日本の情報を集めており、潜在的リピーターの裾野の広さを感じます。

訪日外国人の増加に伴い、地方自治体の誘客競争も激しくなっています。最初の訪日旅行では、東京-京都-大阪のいわゆるゴールデンルートを訪れる外国人が多いため、2回目、3回目の訪日では、ぜひわが地域に来てほしいと、様々な手法で旅行者にアプローチをかけています。

## シンガポールの見本市情報

## Marina Bay Sands

名称	期間
Sea Asia 2017	4月25日～4月27日
デッキ機器、オフショア機器、クルー教育、船舶修理、船舶オペレーション	
TFWA Asia Pacific Exhibition & Conference	5月7日～5月11日
香水、化粧品、アクセサリ、ワイン、ジュエリー、時計、菓子	
Communic Asia 2017	5月23日～5月25日
ブロードバンド、ホームデバイス、配信ネットワーク、モバイルセキュリティ	
Enterprise IT 2017 Exhibition	5月23日～5月25日
3Dプリント、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、eサービス、ソフトウェア	
Asian Attractions Expo 2017	6月14日～6月16日
各種ゲーム、乗り物、コイン作動マシーン	

## Suntec

名称	期間
Asia Health Exhibition 2017	4月3日～4月5日
病院・医療製品、サービス	
Broadcast Asia 2017	5月23日～5月25日
オーディオ、ラジオ、配信	

## Singapore EXPO

名称	期間
21th Manufacturing Technology Asia 2017	4月4日～4月7日
エレクトロニクス、工業用塗料、マテリアルハンドリング、金属切削工作機械	

\*上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご注意ください。

## ★ トピックスレポート（シンガポール人スタッフ便り）★

### ～念願の東京マラソンに参加！～

1年通して暑い季節のシンガポールですが、夕方になれば気温も少し下がり、多くのシンガポール人がランニングをして汗を流す姿が見られます。私もそんなランニング好きの一人であり、いつか参加したいと夢見ていた東京マラソンに、今年初めて参加することができました。

毎年 30 万人以上が参加することもあり、参加できること自体とてもラッキーと言われている東京マラソン。抽選が当たったときは、家族やシンガポール支店の皆さんもとても喜んでくれ、私もこのチャンスを満喫するため、練習に熱が入ったことは言うまでもありません。

そして、いざ東京へ！到着した日は私が想像していたよりも寒く、びっくりしてしまいましたが、東京へ来たという興奮がそれを上回ります。加えて、伊予銀行東京支店訪問というとても貴重な経験もできました。

ついに東京マラソン当日がやってきました。当日は到着した日に比べると少し暖かく、空は快晴とまさに絶好のマラソン日和です。さまざまなコスチュームを着て走るランナーたちに驚かされましたが、中でも私が驚いたのは、私たちランナーへの沿道の応援でした。知らないランナーにも笑顔で一生懸命応援してくれる優しい方と東京支店の皆さんの声援から元気をもらい、私は無事フルマラソンを 6 時間 27 分 19 秒で完走することができました。忘れられない日本での思い出が増えました。

